

一、國際協定を無視する運賃制度は撤回させる、日支協定に違反する鐵道敷設に對し飽运も之れを中止させる。 による事が最近東方館の手で明らかにされた之れがため我が官旅館局は眠る重大親し内々之れが無

満蒙に於ける日本資本の防遏

ル概本方針さして四個の狀況を駐庫して之れが其性手段を働つることに意見の一致ル見た

水院は力で押切り

貴院正全力傾注

政府に好意を有する者を中心に

政府の對議會策

佛内閣の危機

支那新國定

足税率に

來年一月一

日から實施

わが國の對支重要輸出品は

影響殆んどない

以来、教育中の新聞定機駅、輸入機駅、輸入

【パリ廿九日登電道】フランスの「して機条本は

少な過ぎると

失業公債について

一本のであるが、信新園税戦はついては一年間または三年の決定を終て記く之を看表し、明年一月一日で正式會議の洗定を終て記く之を看表し、明年一月一日日前の決定を終て記く之を看表し、明年一月一日

乙さ五級館に民國より

海軍軍體大佐 木村律郎、石原

**谷三公** 谷三公

內務省側對策協議

一千萬圓では

失業公債總額 三千三百萬圓

遞信省は三百萬圓

「東京青日養電流」明年共変会像 つ実業が成の実施を残かれり結果 内容管関係二千点間決定の様に数 さるを書よので飾く流内都電影 に飾び繋変版論の結果、共変技能 さなるを書よので飾く流内都電影 に飾び繋変版論の結果、共変技能 さなるを書よので飾く流内都電彩 た状態がお以上二千角単位の状態 大概音離と形態を得い能離よらの たては何等電質的意義を有せて、由 なては何等電質的意義を有せて、由 なては何等電質的意義を有せて、由 なては何等電質的意義を有せて、由 なては何等電質的意義を有せて、由 なては何等電質的意義を有せて、由



後十三時廿分離野、一先づ歌天郷領事館に入り保証、十五日二館に低館が見たが、同氏は夫人同常にて勝朝の強次、二十九日常にて勝朝の強次、二十九日 奉天着の永井新外務次官

する

國際協定無視の運賃制や峻拒

**影等に燃急勢力するのみならで窓に直接消費の高級を儲かす支売賃貸運賃の大張下げに接手し、疾に歴記に高つては消費との並信機、突足線の正非動脈の係板に基づく我は肥根単定線や十二月の日漁協定に誤!支売艦が離く贈つた處であるが、戦府會議以來支那は頻りに待協する要電流 3 消費との並信機に然認消費に脱終機を及ぼす如何なる機道をも影談せざる事は明立要電流 3 消費との並信機に然認消費に脱終機を及ぼす如何なる機道をも影談せざる事は明立要電流 3 消費との並信機に然認消費に脱終機を及ぼす如何なる機道をも影談せざる事は明** 

租民地の

祭】板物職職會の

大によつて間内閣の運輸は決定を

学作業所長は事務打合せのため大学作業所長は事務打合せのため大

本年度の入超額

前發度樂學院以一群 所長赴連

御の不手腕

か概を強けて働いたが

もあるまいである

からうが何と暮めれ

不死身の恩田市會議

い革新組

梅子な中心さして纏つてるるののさころ、市會・興味は職長の

ま、共動戦化のかの太江海口に勝一く東応である

## 飛行機を備付け 支那を仰天さす 泥口租界透附要求に

補馬公里精

第五河城

稀潛水學校

命航空水部

福安品海軍

竹箆返しの佛公使

稍屬政本部等

第五部長

補非一航空戰隊司令官

本の個人は今後急増にないが一子 地を含して一個人、九子薫園の人 探美解夫人同僚全颗七時二十分派 (東京三十日養電通) 野州電源は であらう、腰膝脱け本暗然に九子 100内に違つ 萬國の入経であるから樹原本年の大 1100内に違つ 萬國の入経であるから樹原本年の大 1100内に違つ 萬國の入経であるから樹原本年の大 11100内に違つ 萬國の入経であるから樹原本年の大 11100人 1110

植民地を合せて一億八九萬圓

億圓以內か

來月中旬頃から入超に轉換か

命艦政本部出仕

補水路部長

補第三颗歐

伍堂兩鰻理事は三十

補第一潜水戦隊司令官

海軍大異動發表

補第一進外 命軍令郡出仕

除司令官

**東**補海軍技手養成所長

【東京三十日發電腦】木年度衛軍 中將に進級は八名

前技術部長兼得軍技術會 山本五十六

- 戦田 - 種

展除司令官 機能司令官

直湾外着の豫定

補第二水實

命軍令路由

糖佐黄保存 補第二濟水 整司令官

守府参議長 金谷 三松 で馬力なかけたものだ、日曜と た」さは海銀谷郡で さでもの鉄塊である が、その中でも特に が、その中でも特に が、その中でも特に 苦んだものはなかつ

を では夜中の十二時まで郷底をきました」と東席の連中が帯凸い壁で でした」と東席の連中が帯凸い壁で が十日もつとけば死んで了ふ」と もあるまい振って見ると、あった は何となく明るい感じだ。まるか は何となく明るい感じだ。まるか がっけみこの頃の配鞭部の塗べ

際に織糸和採五六千萬間、戦前に も日本記が戦遇され戦を信望であてある。日本からの韓田は栄篤一 韓田は心可能でない、郷鑑その徳

るさ随つた

世界不況のため

各國の農村疲弊

クランスの農村は成績がよい

早工 職造船部長

玉牌

変なしてゐる

維和內閣總幹職

公二不 催 告 快速市吉等町二拾署地 餘砲火艇向日滿南食事 申立人 今村 夏一 相、スペシアル・セリグナー五

一、船省 アール・シー・リックマー、船省證券 壹通

機器の苦心がりかりではなたが てくれてるたのだ」を何れも聞き 開献、管職御際連長が下層かった、それは十階が最近からことして選出を前他とはしい目をおさせ中は一世の東書だ▲それには 日景前他とはしい目をおさせ中は一世の東書だ▲それには

り候也十九日午後三時死去致候に付此段謹告仕養田志津並に三女素子儀十一月二 は途中行列を破し十二月二日午後三時华大道寺

教主十五郎像下げする智養表し され、更に北宗教に作って暫日には二十七日突襲吉林棕巌戦制 ( 吉林に襲る教験の大部分は吉津、 事末二十九日養電通 津 陳義路 | 戦五十元の運動像下げさなるので

版の御吳誠は左の如くである

撲・捻挫にも等しく質用されます。スポーツ乃至筋肉勞働後の疲勞・打

によって腰々電路なる英語を

二円五十歳を養好にあり 五十歳。一円を養好にあり

作單大學校甲種學生被抑制 溶單大尉 初 脇 王 兩司令長官

重興信治耶 

伍堂理事上京 千圓のひろひ物

人间债星玄蕃 二月日封切

阪東太郎 勢力富五郎 ·藤尚和子主演、

楊富士子明 ツホン娘の民経 三津小 主演 便

平了工

は本日線和吸した、後期内殿はオーストリア内蔵はオースルエルアン博士が資々能様シットーエルアン博士が資々能様シットーエルアン博士が資々能様シットーエルアン博士が資々能様シットーエルアン博士が資本能様シ

一九三四年に東京で

し開く

井上延次氏語る

日本品有望 土耳古には

皇族殿下の

吉林特産物百ポンドにつき 運賃引下 運賃十五仙方引下

痛の如き常習的のものにも、或は頑固なものにも。頭痛・肩振り・一神経痛・ロイマチス・腸節炎の如い 皮膚に塗壊するだけで

鎖痛劑

## 日頃、出入りの豆腐屋の申立る 大連署大に活氣づく

はころ何時もの如く豆腐な糖いで、一窓によれて鬼谷(はない客の前記ボーイが居り、一足腐はいちのかごされたるさ、との後野師の鑑してあったので表が近れた窓は原であった。となかったので只遊びにでも来である、 一般時つたが常時別に軽しい様子である、 一般時のであった。これであったので見遊びにでも来である。 一般時つたが常時別に経した様子である。 一般のかさ思ったでした。 というのからこれであった。 というのかさ思った。 というのからこれであった。 というのからこれであった。 というのからにはいれてるる。 というのがある。 このである、その後野師の鑑し、記ボーイの行かに述がれてるる。

窃盗に早變りか

なってるる ので大連数部局は少少無り飲味に ので大連数部局は少少無り飲味に ましたが、昨今曜 は、まないのが多いやうで保年決つ するものが多いやうで保年決つ では、当年の大学のは、当時に、1000年 では、1000年 では 御食器の対応はなさに「紅網東京特理州「種」昭和六年度

變り種二人泥棒 盗みに入つて酒盛

講演に

けふ丹羽博士

**物題**「社頭雪」

御歌所に到着

の宮内省

**準信局及び本社の揺鳴に順じ目下 | 四時中よりである** 

州內中等校

50 (25) 1 (8) 8

武道大會

柔劍道試合

中の満鐵軍

初庙 强 象を破り優勝 きのふ全滿籃球大會

大連職業の四校、柔飯道選手幣セ大連職業の四校、柔飯道選手館セ大連職業の四校、柔飯道選手館セ大連職業の四校、柔飯道選手館セ大連職業の四校、柔飯道選手館セ大連職業の四校、柔飯道選手館セ大連職業の四校、柔飯道選手館セ

校満器において際艦、参加學校はは計日午前十時から大連第二中學 第四回州內男子中等學校武道大會

本を行であるか、機をりか、燃暖か、 を行であるか、機をりか、燃暖か、 を行であるか、機をりか、燃暖か、 を行であるか、機をりか、燃暖か、 を行であるか、機をりか、燃暖か、 をなるべきであるが、ユキ子が大 をなるべきであるが、ユキ子が大 をなるべきであるが、ユキ子が大 をなるべきであるが、ユキ子が大 をなるべきであるが、ユキ子が大 で解雇してやつたが、出て行く の家で出かけたが、御守さ見て傷いので、 を答してゆったが、出て行く の家で出かけたが、御守さ見て傷いので、 を答してもなってるるので、 ないまで出かけたが、御守さ見て傷いのではないかさ 版 を答した様でした。 を答した様でした。

満鮮代表權を握る

寒風膚を裂く安東グラウンドで

ラ式蹴球決勝戰

水金池極大八木尹神柳鶴石奎 基大政 正 墓 志 志

大豫科と京師が

犯人の行動

鞍山中學に

普成専門に

FG FT P 54 4 4

12 0 4

工大大勝

サンドの服置は観察が現て埋めらりをく、安東のラグビー版さてゲラを対して戦を対談いた、寒風膚を呼吸でいるったが衝突動

間島暴動の總指揮

交戰

し捕はる

部下の土匪十四名も珠敷つなぎ

わが警官隊の手に

曖昧な家人の供述

等自水清(大衡)▲三

値安大の對絕

田龍彦〈大一中〉

12 CY

大火傷

18 銀

FG FT P 

66 2 3

手経で出來る 可愛い男女防寒着 可愛い男女防寒着 神な膝髪者、婦人似樂都十二月数 かな膝髪者、婦人似樂都十二月数 二上氏講演會

28 23

19 数

十時より祭覧執行すると 今一日の大連戦社の月次祭は午前 大連神社月次祭

の地震学院党争監察政治に、李は量の五、一名を斃し数名に重軽傷を異へ李へ一名を斃し数名に重軽傷を異へ李、一名を斃し数名に重軽傷を異へ李

能転の駅映場を もので四人 をので四人 をので四人

希は 型で市内整備所で 通で市内整備所でするで 一番製館はいよく 準成らたので三 十日午後二時から同館において要 大な順館式ル等がた **駁豆地方屋災義捐** 

世界に於る

ラデオの大勢

じられます。

けふの瀬日講堂

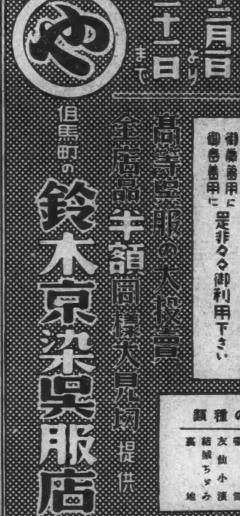
大喜びで満期兵離滞

きのふ埠頭、見送人で賑ふ

大の概像に使りますさ、他れら 大の概像に使りますさ、他れら 大の概像に使りますさ、他れら 大の概像に使りますさ、他れら 一十一日葵園島歌ジョージ五世 であります。大れは、本単一月 であります。大れは、本単一月

海二型位 第二型位 第二型位 第二人 第二型位 第二人 田田位 By いり は 壁 ぶり 物人三副位 **大連大** かりおり

一五表代話電



ำก

FG FT P

御島善用に是非々や御利用下さい

供

十二月一日より 高 歲暮大賣出 新製品揃 特

福引券附き(お買上金一圓毎に抽籤券一本)當籤景品 白米一俵宛 ●外染網、金波、小濱小紋、裾翅と、丹前地類大家変致もます……市價十個位より十八、九個の品を●秩 父 被 り 上 等 一反 七八個より色々 ●胡椒人向縞緋模様 一反 四 五 開位より色々 ● 胡 仙 大 鳥 緋 一反 六七個より十二三國迄 ● 新 仙 大 鳥 緋 一反 六七個より十二三國迄

大連市 イワ

全部お添へ申上げます 特價品にても顧引券は

新学校學校二年・組生徒一同 同校ではこの漢ぐまもいない金本 野地方の大震災を降くや襲つ 暮んで受取り軽天歌を通じて送附 野神方の大震災を降くや襲つ 暮んで受取り軽天歌を通じて送附 場ができなり 軽天歌を通じて送附 場ができなり 軽天歌を通じて送附 場ができなり 軽大いない。 の変化を発して送附 場ができない。 の変化を表して、 の変化を、 のなで、 のなで の 奉天高女の二年い組生徒が 擧つて醵金を申出づ

全滿飲食店組合 聯合會設立打合 七日各組合代表が會合

本年掉尾の

本年振見の全現東総道大會は計日 で正選手総計三十名神殿変手十餘 名に選らて居る、大會次第近に流電 を記述して居る、大會次第近に流電 を記述して居る、大會次第近に流電

除隊兵歸鄉 新房店市帰院所類院院兵殿出門長 を別小野等地市事務所長は在住民 中国を代表し二ヶ年配の勢者を歌 一同を代表し二ヶ年配の勢者を歌 一同を代表し二ヶ年配の勢者を歌 一同を代表し二ヶ年配の勢者を歌 同 同 に勝來在郷軍人さして に関

汪教授視察

驛頭には多數の官民

見送り労をれぎらう

御眞影あす到着 上田大隊長途中まで御出迎へ

盛會を極む

1年)二等権人祭(1年)三等ル 12年)二等権人祭(1年)三等小 12年)二等権人祭(1年)三等事 12年)二等権人祭(1年)三等市 21年)二等権人祭(1年)三等市 21年)二等権人祭(1年)三等市 21年)二等権人祭(1年)三等市

社員俱樂部

軍政兩署にて

共産主義取締り

赤色書籍販賣禁止

の酸朴、酸繁等を能す響であるが、 大を解し、く目下調像中であるが、 大を解し、く目下調像中であるが、 大を解し、く目下調像中であるが、 大を解し、く目下調像中であるが、 大を解し、

二週間のお休み

内部を大修繕

正隆支店で三回に

深水氏講演會

五十綫銀貨の 偽せ物發見

電民就派のため会社総略直替同郷 11年の本教二月まで支那町に続 大田より本教二月まで支那町に続

奉直魯同鄉會

が極出しいづれる正確支 五年か及は昭和

機の下に十二月一日午後六時より なつた。入場料は他は今保、常年郎、参新院支刷後 整更航き壁もで建して建いる。

死の官在さま

(注意を要するさは注意を要するさ

第九驅逐隊

忙しく撫順視察 本位に努力の決心 乘組員送別 極めて盛會に

を述べ谷開保 健康を戦し、次で戦本選問の動を述べ盃を駆げ一同の

第を三階と感髪神に七時過ぎ能會 管官また証を撃げて底服官長の萬 さ述べ、面に戦談三名参謀長養監

突代すべき第九幅逐隊四隻はい 予念一部提演教車歌に向け静遠 | 本お完整を披縦のうへ途中芝罘 二日旅順拔錨

旅順消防屯所 機械器具點檢

れても智は漫草で鳴らしたレザユ 時からしいささへ取つた。 いいれよだ。そんなこさこそ の最上千夜子よ。野一四位、郡 枝は恐ろしく大きしかう乾燥 できらている。 できらればまた月枝に動する題か が、そればまた月枝に動する題か

でも、月代はいつもながらの田地で離れむやうに見返むて無寒しながらの田ががらの田 だけざ、またあんな執拗い数に取っ さ、液に吠える大のやうにこか 早~除つてお風台に還入って…… 常

年マキノ黄金映画

十二月三日四日間限り 般四 痙

の機能製であるといってい

會大醫映廊: 山曜田前 郡三妻東阪… 三妻東作原主 施岩

は眼差で月枝を眺めながら無味噌

際の形んになったこと程ようこは を感覚して健康を指述するもので を回復して戦廉を指揮するものでを回復して戦廉を指揮するもので

は便能的って

版送ウブア社最後の無撃映画 地上唯一不朽の壓倒的大機作 一本日の映画見なば是非常線座へ… ーナ・ベトロヴナ マリギッテへルム機主演新ら 弦へざ古きぬもつ懇の遊び女 窓の変か線く神話 の変か線く神話

意々欠遇封切子 守 順

がなさらついませた明日のブレー では、からなっていませんがとれたけばなかり 潜勢技力の涵養期

は、試合をかったといふっか から「桝面」は質用されておりこれの際偏してある底が多い。 能感 観道を繋や教技器合信所では以

さ、月校も、ちょつさ映画の小れをうな日調で示って、わざさ田で示って、わざさ田で示って、わざさ田でいっていたが、 とい、ためかといいまで楽ひ出さ、終ち株の根場のやうに早熟 一种木真 .o. 一十五日より開館一選年である。 一十五日より開館一選年である。 一十五日より開館である。 一十五日より開館である。 一十五日より開館である。 一十五日より開館である。 一十五日より開館である。 一十五日より開館である。 「東西では、別宮幸雄監督 一下一一一次の 一下一一、双奏共演 一下一二十一銀内 一下一二十一銀内 一下一二十一銀内 一下一二十一銀内

なわし 没のひ

日枝のがをまじくくこみてぬる。 日枝のがをまじくくこみてぬる。 「ほゝつ、まあ、そんなに考へて なけりや返事が出來ないの?…

の飛動をしやうご思って来ても、 の飛動をしやうご思って来ても、 のでは、出来やしないちやないの、 ため。僧らしいほど、ほうんでであるのの感覚會だつて賦分評判がよかついためるのれ。此度 「はいつは…… さ、田部もおかしさうに馬鹿突 人か映ってやがる

本 うっれえ、君も一度惚れた繋だっ 選して、田部のあたまからして底の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終続が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終が し飯いこころから、小からして版の空へ來てまで終める。 さ云ひながらその岩の上からは 巧手れ、私にも出来るか ません **泡速** 

さ、田都は僧墓の日城が創に報告「裾の紅や背や葉の用かな色繋が、たらマダム?」 さ、田部は、月枝の際服の揺にたらでせると、正ないこはでは、月枝の際服の揺にたらでがよったのではら、直そこに 「巧いっ 満石はレザユーの人気だよいご除記に続しくなるでせうよ りさ下に舞び下りた。 し聞いさころからい 校は後のさりなもか時に 小器用にひら

D 活

流流川玉大郎翌月曜子 瀬県帝キネ長瀬スタジオ特作 東谷 大日より特別封切

代劇 若き日の光國 南半ネ現代映画 朝日新聞連載 朝日新聞連載 朝日新聞連載

がかでうしたのスキーが単が出ってを がかでうしたのスキーが単が出る。 は間疾者は仕事が手につかないも は間疾者は仕事が手につかないも は間疾者は仕事が手につかないも がの冬は谷地を読むる。スキーに がの冬は谷地を読むる。スキーに をかったに存分での疾症の快報を がのであるよりはが含の、スキーに などがんであるよりはが含の、アにストー サインタースポーツの季繁になっ 事五寸五分――平供より二十五門 事五寸五分――平供より二十五門 事五寸五分――平供より二十五門 単かつた。同時に中央線の参照見、 を制し書の譲れを組版は目供は を制し書の譲れを組版は目供は を制し書の譲れを組版は目供は を制し書の譲れを組版は目供は を制し書の譲れる組版は目供は を制し書の譲れる組版は目供は を制し書の認った。 に変いが、風ゆるスポーツマンがない。 とく質様するのは「蛇布」といよいないない。 歌」こそスポークマンのみが知る いない解析であり、神様である。 かればれる 一般には配着、機能、美麗日景観人 運動すれば散勢する──この を受け、実際に整理のなきでも、一般の存留などと違って、運動によい愉快であり、呼ばである。

◆新聞は煽る 心得の巻 多期練習

大森滿鐵理事

禺歲聲裡に 除隊兵出發歸還 官民多數見送る であるが、内外の関係の発車にて多数見洗神にさ考へるその
・ 向つて自分は将来 うな視察を終へて十つ。

高粱、大豆、栗なご増收

玉蜀黍、水稻は平

重任を終へて

乾沓式播種法に 見事成功す 灌水式壓倒の好成

滿洲農業界に

尾崎氏遺族挨拶。

放大連續系署長尾崎三郎氏未亡人 は高雅製部同院、 サ九日自鵬車に て恋家各が聞か談院接携を遠べた

申付男米〇川三十

ひで毎日銀夜、暮れ郷む黄野時の明は残月のこさとりと、動わづら

近く純瘠することとなった卵九幅近人純瘠することとなった卵木を変 うな値かしてゐますよ、繰りい までし、月枝さんりのつておく

映画寫內

かけを贈めて、雕くやうに云った。 できった吹く風を除けて、二人は もつき吹く風を除けて、二人は

しだし そんなこさどうでもいる

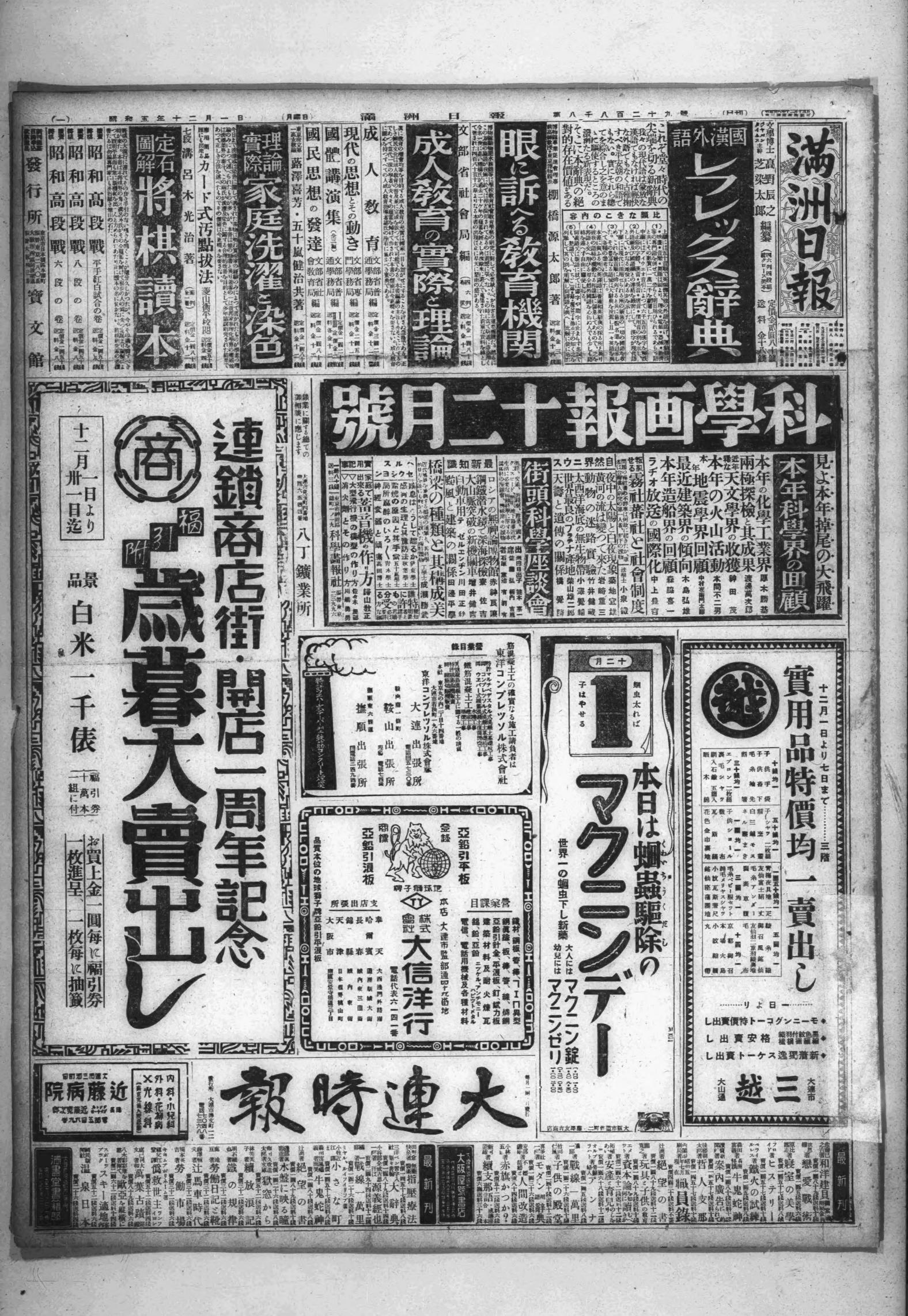
田都は、なんさなく芝居じみて

た日間で続けた。 れいのかえず今云つてきかしたこ きたこの光景に、

宫具 健一……主演

の海南

入場料金十銭也運用との雰囲持参者に限り



翼派が流血の暴動 川崎市に於る今春のメデー事件 廿九日掲載解禁さる

九日をもつてそれん〜掲載禁止を解かれたされてゐたが、內地は二十八日午後三時湍洲においては二十本共産黨員のメーデー暴動化事件は爾來新聞紙の掲載を禁止本共産黨員のメーデー暴動化事件は爾來新聞紙の掲載を禁止

## 十九名が喊聲をあげ殺到 場内警戒中の川崎署警部ほか

植民地の

植民地を入

台せて一億八九萬圓

來月由

旬頃から入超に轉換か

事務 會議

億

圓以内か

警官其他十三名を傷く 

犯人八名は

その場で逮捕 民政副總裁設置說

元の作成の二六とは

少壯派間に擡頭

多病の鈴木書記官長更迭や

院內役員の拔擢要望

諸法律案の、

提出方を督促す

川崎法制局長官から

竹槍を用意

蔵相に陳情

「東京三十日登電源」全國市町村 長代表は二十九日午後六時酸根官 最に井・酸和を訪問と地方民の縮 がは、一大山方の有機軽減ならび いに井・酸和を訪問と地方民の縮

三千三百萬圓

失業公債總額

少な過ぎると 一千萬圓では 

失業公債について 內務省側對策協議

問題にならめさされて居る

子/ できるが、その中でした。 さったしては「一般のないである。 でもの評判である。 でもの評判である。 でものには、一般のないである。 でものには、一般のないである。 でものには、一般のないである。 でものには、一般のないである。 でものになっつった。 でものには、一般のないである。 でものには、一般のないである。 でものになっている。

**数電道**政府が明年

度に於いて登行すべき失業公債の

遞信省は三

百萬圓

の『東京計日發電流』明年失業公園、つ羊頭海肉の非鑑を残かれれ結果。 内務都開除二千萬圓法定の機に繋が高。時は安潔内根が高いた一日重ねて に訪び壁楽遊聴の結果。失業致済。時は安潔内根が自然を慌め破響まらの に訪び壁楽遊聴の結果。失業致済。時は安潔内根から粘上酸根に直接。 を標様する以上二千萬圓位の公額、 
た整衛順ご形態を慌め破響まらの では何等電質確恋姿をむせて、 
中国の公園で表示の表示といると言ふので飾く透内を含案 を標様する以上二千萬圓位の公額、 
た整衛順ご形態を慌め破響まらの では何等電質確恋姿をむせて、 
中国の公園で表示の表示といると では何等電質確恋姿をむせて、 
中国の公園で表示の表示といると では何等電質確恋姿をむせて、 
中国の公園で表示のおります。

蔣氏が近く

が有力となりつくめることは影響は似の低級線な影の象を影響のなめ解 なう 満鐵社 員會 幹事會 紫色

ツの雌・ に聴送され起気のが使では一般の をき語った. 特性総条権総五六千萬間、戦前に と目未記が続逃され際系権認いのでは、戦前に と目未記が続逃され際系権認いの に決定し である。日本からの輸出に特為一 輸出は心が総でない・総銘その他

世界不況のため

伍堂理事上京

各國の農村疲弊

フランスの農村は成績がよい

◆…櫻田氏語る



全力傾注

りであらうさ思ふ。

川の對議會策

皮膚に塗擦するだけで

福田されること、なるであらう

「電子二十九日發電通」等機製路
た、同食器は銀道現場監督の並場
一場の眺かさらて作歌の合理化されるであった。
におき十五((地下げする) の変質を百まンド
におき十五((地下げする) の変質を百まンド
におき十五((地下げする) の変質を百まンド
におき十五((地下げする) の変質を百まンド
におき十五((地下げする) の変質を百まンド
にあるため勢くは作業上の連線、レターサービスを認識するところ
され、更に北京線に使って軽月に
である、同食器は銀道現場監督の並場
「ものいかさして作歌の合理化されるである、同食器は銀道現場監督の並場
「ものいかさして作歌の合理化されるである、同食器数3に使って変大時」があった
である、同食器数3に使って変大時。
「これ、現る性があって変大時」があった
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の並場
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の並場
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の立場
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の立場
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の立場
「これ、現る性があった。」
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の立場
「これ、現る性があった。「これ、日食器は銀道現場監督の立場
「これ、現る性があった。」
「これ、現る性があった。」
「これ、現る性があった。「これ、現る性があった。」
「これ、現る性があった。」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性があった。」
「これ、現る性があった。」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性がある。」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性がある」
「これ、現る性がある。」
「これ、現ない、現る性がある

撲・捻挫にも等しく賞用されます。 スポーツ乃至筋肉勞働後の疲勞・打 によつて腰々軍馬なる炎症を未然に防ぎます 痛の如き常習的のものにも、或は頑固なものにも。頭痛・肩張り・瞬神經痛・ロイマチス・開節炎の如き

竹箆返しの佛公使

五千圓のひろひ物

東京一四二三番創業後十年日本信息分月。我一次一大月十五後4年八十長一个年一面五十段(展館金)

言準小児 勢力富五郎 161

ち候也 十九日午後三時死去致候に付此段謹告仕十九日午後三時死去致候に付此段謹告仕

学に要所長は事務が合せのため大

字佐美所長赴連

日本品有望

一九三四年に東京で

つ撃天徳館事館に入り依線、十五廿二十七天人間伴にて降戦の途文、二十九日午は天人間伴にて降戦の途文、二十九日午

うらる丸一日午前十

祖母志津(き)は看護してゐた

歸宅した母親が發見

んだが、東大橋の間に類子さ離母的に勝手知つたる裏uか 記び込 諦らめられな

菊子の母親涙で語 弔問客の 3

涙を唆る 惨劇の家小澤宅

兇双に 斃れ

た祖母志津さ だによれば 発行は 千後二時から三

お付職大郎、加藤也之七、一十二月十一日 一般成大吉に戦後一年六 原産があって原廷、明決部域しは、機能大吉に戦後一年六 原産があって原廷、戦時、高橋 ・機能大郎、加藤也之七、一十二月十一日 関係のため出馬した井本豪興官は休校小髪表した、なほ明大嶋跡に 日教院とた集権生ニ干五百名は 制力時大學部、戦門部単生さ共 記念顧前に製つて機動を高融し をを福め際繋や職さなったので をな福の際繋や職さなったので

大火傷がら六名

歌して謝. \*ク子さんさ自続で一番他の良い をクチさんは概長であるが起。

慘劇

0

家

屋上

(下)検證を行つた池内検察官一行: ※即の窓の中が兇行の演せられた部

月影検閲覧工作を変える。本の年に佐藤の本の様に

てゐた

皆から好か

東京步兵第一聯隊 版三(\*\*\*」が食庫内から石油(\*\*)、たいで、大して暖をさるべく確なないので人夫職田思ふやうに燃えないので人夫職田といって人夫職田という。 四級所入夫十数名は二十四科村町名古屋水道課学

日本一の好成績

李王殿下の御難力のたまもの

何者か忍込み 修殺さる 八十圓を奪ひ逃走

死せしめ、現金八十圓を奪つて逃走した惨劇が氏母志津(七代)と三 菊子(一三)を出刄庖丁で滅取締役小澤新之輔氏方へ何者か忍び入り、留守時三十分ころ大連櫻町二八番地、元大連取引所

だるたので、程票を受かから出来を を会入十餘風を報って液差とたもの を入十餘風を報って液差とたもの である、その際犯人はや関の下駄 である、その際犯人はや関の下駄 第一てあり、これが学り照代理場 だいて透りようさしたがかさくて 東ーてわり、これが為めば

り、これを唯一の手掛りに死人殿とた血郷の推議が護所にあ

日頃、出入りの豆腐屋の申

5

返辭

大連署士

唯日から鉄席してゐて今日けなした。キク子さんは病氣でにが全く可あいさうなこされ 解雇 S. 水上署農戒

たいつもより選くなつたのでで の留守に飛んだ災難なこさにな ったのでせう、全くお氣の罪な こさです こさです 海路逃走を慮つて

那汽艦、戎克等を風流・ ーイ某支那 は目下極力探査中であるが水上

の行動

ので大津監察局は多少無り無味に が発行後の行動はサツバリ動られ が発行後の行動はサツバリ動られ 大学 さなつてゐる、京城被牽出院で駅 の問題の女高玉光は成大門歌物所 の問題の女高玉光は成大門歌物所 より 脱散地たる公州に摩送され会 から まり 脱散地たる公州に摩送され会 手人を取調べることになり第一

ナニ月一日より 歳暮大賣出

新製品揃

高

級銘仙

無心に出かけ 衛上京中の小澤朝之幡氏は二日飛衛上京中の小澤朝之幡氏は二日飛 小澤氏飛機で歸連 可愛い男女防寒着

値安大の對絕

片つ 端 から取調ださこ 機を機むべく訪れる行職人を

な欧寒春、婦人俱樂部十二月

窃盗に早變りか

果意外に戦権が暴騰されてもないは一般が出い。 になりゆくか一般から可認されてる空である、この謎の事代は如何 れて取調中で

曖昧な家人の供述 明大豫科



親日小學校を訪へば宿直の休先

宿直訓導語る 朝日小學校の 優等生

しい見で

惨殺さ

n

た菊子さ

でなってゐる、京威教書法院で繋げた以て見られを期門師成死の中心を以て見られを期門師成死の中心を以て見られを期門師成死の中心を以て見られを期門師成死の中心を以て見られを期間が成死の中心を以て見られた。 興味を惹く 殺し事件

し健康なので一般から歌型されてれ等院隊兵は思線観覚で担つ身性 謎の少年

**#**家後木豆花服尼 御奇善用に足非々令御利用下さい



八ボーイ?

き上げ我子の名か呼ば続けたが窓。

上郷しかった。郷人は約一ヶ月前 指名犯人 さして検査してる人、常日郷人は小漢族の家

大連署では市内祭町居住裏支

犯罪發覺を恐れ兇行

窃盗目的で忍び込み

人は解雇し

とてゐるユキ子夫人は往前の記者

きつけて田中財別所長ほか賞業別 の名士多歌騒つけたが繰りの微幅 にたゞ果然さするのみであつた。 にたゞ果然さするのみであった。 の間に安置・脛前には二人の編真 の間に安置・脛前には二人の編真

ているが、大連署ではこの残忍極 

日数的に解雇を申出たの になってか、出て行く が賞になってあるので、 が賞になってあるので、 が言になってあるので、 が言いなってあるので、 が言いなってあるので、 が言いなってあるので、 が言いなってい、出て行く 知つてある前記小澤かたへ無心の のだ。その時多少感情を なに、 なに、 なに、 などに、 などに、

校明さなつたる電通】明大では

滿洲水產事件

判決言渡

來る十二月十一日に

特價品にても福引券は 全部お添へ申上げます

福引券附き(お買上金一圓毎に抽籤券一本)當籤景品白米一俵宛

電話六三九二条

伊豆地方大震災

に関し発鳥大連飲食店組合長 特統一する機関加ち職合組合 を不便な貼めるのでを組合 を不便な貼めるのでを組合 を不便な貼めるのでを組合 を下、途中間に乗合自動車を運動 を下、途中間に乗合自動車を運動 を下、途中間に乗合自動車を運動 聯合會設立打合 七日各組合代表が會合

劍道大會

萬歲聲裡に

瓦

店

除隊兵出發歸還

藤田曹長以下一行四十九名

のふ大和小

本年掉尾の

本年被配の全型東鐵道大會は計出本年被配の全型東鐵道大會は計出本年被配の全型東鐵道大會は計出本年被配の全型東鐵道大會は計出本年被配の全型東鐵道大會は計出本年被配の全型東鐵道大會は計出数別小野荒地方事務所是は在住民間、大中隊長に引擎さられ職\*ームに間が大中隊長に引擎さられ職\*ームに間に上で、大會次第並出出数別小野荒地方事務所是は在住民間に上で、大會次第並出出数別小野荒地方事務所是は在住民間に上で、大會次第並出出数別小野荒地方事務所是は在住民間に上で、大會次第並出出数別小野荒地方事務所是は在住民間に上で、大會次第並出出数別小野荒地方。 脚すると共に勝來征約軍人として の本分か載されん事を繰む旨採拠 え、答師あり一同乗車、佐藤蟹線 表、答師あり一同乗車、佐藤蟹線 官民多數見送る ない 子原 地で 一般で 一般で 一般で 一般 地下 配 附 口種医房店機工區 木雕 政雄 小学原太郎 小学原太郎

軍人分會最階年職最等無處三百餘版長及所原版市內在住民多數在版長の勢を縮ふ為り小學校整後各所版上市內在住民多數在版長。 

の等の十八二条五七後編師經療校

地にかける合格者は左記四名であ は三十日列車にて監察せり をは此戦は今間登表せられたが 間支那官戦闘:多数の見送りか受 の質め廿八日來我し後縣神殿學校

乾沓式播種法

見事成功。

旅順消防屯所

機械器具點檢

さへ思った。自分ながら

子な、前眼したまと云つ

さしていくのだった。

港一路横須賀軍港に向け帰還北炭壁を挟織のうへ途中芝罘

灌水式壓倒の好

滿洲農業界

行び年後は総割を行った を対ルアオースの試験を行めたる をメルアオースの試験を行めたる をメルアオースの試験を行めたる の、近崎質出しの防火器具貨廠と の、近崎質出しの防火器具貨廠と の、近崎質出しの防火器具貨廠と

尾崎氏遺族挨拶

年 酸性を受えて素をいる。 ・ 名は、無事満期除験さなって二十 ・ 名は、無事満期除験さなって二十 ・ 名は、無事満期除験さなって二十 ・ 名は、無事満期除験さなって二十 ・ 名は、無事満期除験さなって二十 ・ 人会は提て係品脱数者を備する ・ 本のな聞へ帰還の途についた、職 ・ 石井長衛、察教長は二十七日午後 ・ 健、各町機代、官長有志、各校生 ・ しの故聞へ帰還の途についた、職 ・ 石井長衛、察教長は二十七日午後 ・ 機、各町機代、官長有志、各校生 ・ して、 ・ では、 ・

人会は後で作品展覧會を備する人会は目下來長端州屋敷館に滞在中、大学人工地事所長等養肥、愛知縣

武道大會.

天中學の

重任を終って

除隊兵歸鄉

驛頭には多數の官民

見送り勢をねぎらう

御眞影あす到着

開所式 を記してあると 東京等を説解して二十日頃静戦の 東京等を説解して二十日頃静戦の 東京等を説解して二十日頃静戦の 東京等を説解して二十日頃静戦の 「「ないのでを燃水のない域の 「「ないのでを燃水のない域のでを燃水のない域のでを燃水のない域の 」 「一年」 「「ないのでを燃水のない域の 」 「「ないのでを燃水のない域の 」 「本の外」を、 「大き、 」 」 「大き、 」 、 「大き、 」 「大き、 、、 、 」 「大き、 、、 、 」 「大き、 、

監が呼ば後来の

死んだ人

に発放性の幸さんは、かの

毕

限分、くたびれちやったわ

一の機能験であるといってい

ーフマンばかりで

中村市本〇川〇十十

金臺

試験に大成が、普通の

サイレシ故障で

一週間のお休み

内部を大修繕

趙秘書赴奉打合

他七位に叙せられた智宙戦事論緊緊暴と片柳徳造氏

研究會

時計商の營業

深水氏講演會

情が原出しいづれる正隆支

より再び來都と二十九日は個大歌頭事は二十八日二十時五分振

軍政兩署にて

共産主義取締り

赤色書籍販賣禁止

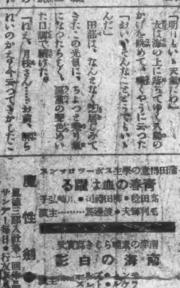
人森滿鐵理事

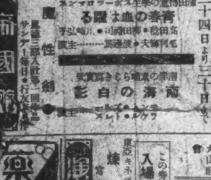
吉

町のところく

五十綫銀貨の 偽せ物發 正隆支店でコ 凹に亘り 奉直魯同鄉會

主嶺







の大スタデアムに

常醫 四日四日間限り 座

さ、海は吹んな光のやうに

20

かれるのかさ思ふさ既になっ

助之龍彩月 平新 木高 治文小川市 郎太 東阪 最秀 城岩

子群 子類 子數 子款 の後して記載しているであらう。 たがいりに興味と理解をもつで来れが驚く一般化して、女も子供もれが驚く一般化して、女も子供も

こつと吹く戦を除けて、二人は一

映画

までも、月枝さんと釣っておく

を殴り合ふががどれだけ愉快が知ったメナーの機にて遊くは脛の雪い

関節キネ現代映画 関節キネ現代映画 関節キネ現代映画 前港草紅團 D 開前田多喜夫 活

守

競争 0 模型

往年マキノ賞金映画

让"田

からと云づて 潜勢技力の涵養期 明合にゐてスポーツを学業 にあつては「妙布」は唯

大森滿鐵理事 忙しく撫順視察

一般の下に十二月一日午後六時より なつた、他のきば、常年職、や新晩五扇後 整理動き

布されてあるらしいから各家庭で

第九驅逐隊

在住邦人の利 益を

□新月山 利油県

「大和學校園 (大將) 一級山内、新森州府際の公園園は職で事務

「大和學校園 (大將) 一級地内、新森州府際の公園園は職で事務

「大和學校園 (大將) 一級尾方、所な職児館園に溶びたる強宝院融 (職者側に窓て着く理事な趣)の民 (歌樂中であつたが正事は略遊成 (歌楽明七日大和小學校課堂に居て際 粉稿飯粉の橋本書記が出低さなっ の (職者側に窓て着く理事な邀り民 るが何れ際製は今月班領さなる見 食い (歌楽明七日大和小學校課堂に居て際 粉稿飯粉の橋本書記が出低さなっ の (本書館に窓て着く理事な変)の場である名称は新 十一本待つのみさなつた一度大會際 (込である)

なる一度惚れた気だる

る挨拶をなし、 田部は情悪の日晩が急に客舌・観の紅や神や紫の路かな色

べ、互に散践三宅参謀長養野 三唱も、岸本司

無順縣下の作品

高粱、大豆、栗なご増收

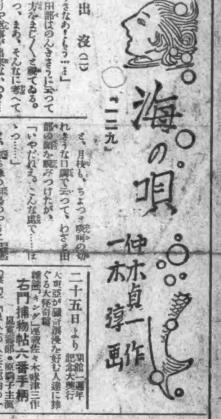
玉蜀黍、水稻は

一日旅順拔錨

交代すべき第九縣逐隊四隻はいよ

一 は、いるを書には無いるが思います。 は、いるを書には無いるかったといよった





栗組具送別

無順官民主艦、第九驅逐艦脚本司 合以下各頭組將校の送別會は二十 九日午後五時より偕行社において など 極めて盛會に

すりの費用をかけ まあ、そんなに書へて によって 「いやだれることな場で

殿りかしい調子で突れ

今年の初雪は過ぐ

は回復せ

の地震者だつて臨分割党がよかつ さんよ伶別だから、あくがく先き、 で、手が配ってあるのれ。 此度

切…ヤンニングスの……存文 を読れる。スキーに

野市・大学が、「関連版のとは、小学かった。同時に中央版のを行う、 群に愉悦であり、神神で男」こそスポーフマンの

◇新聞は煽

心得の卷